

防災学習を通じた感想

平成17年12月16日

今までの防災学習では、いろいろな人にお世話になりました。防災について、見たり聞いたり、体験するなどたくさんことをしました。そのことで、知らなかったことが分かったり、防災について考えるようになりました。

私は、防災学習をしてきて、「人を助けること」「一番大切なのは命」とか、災害時にどうすればよいかなどを学びました。だから、自分が災害にあった時は、この学習を活かしたいです。

防災学習でカレンダーを作った。私の班のキーワードは「防災学習」だ。私はこの防災学習の時間に、いろいろなことを学んでいた。この時間がなかったら、私は災害についてほとんど知らなかったと思う。やっぱり災害に備えるには災害について知らないといけないと思った。だから、防災の知識について知ってもらいたくて、このキーワードにしました。

最初は、防災やどーでもいいし、とか思っていた。でも実際に学習してみて、やっぱり大切なことだ、ここで学習したことを将来活かそう！と思い初め、今では総合が大好きです。カレンダー作りは、とても楽しいです。完成するのがとても楽しみで、わくわくしています。

浜さんや今までお世話になった人に感謝して、これからの自分を生きたいです。いつまでも命を大切にしたいです。

自分は、防災学習のすごさがわかったのは、全国で20校と聞いた時だった。それから「世界一受けたい授業」などで、自分たちがしていることをやってたりしていたのです。

由岐町をどんな町にしていくかという時には、いろいろなユニークな意見がとびかい、自分もいろいろ発言しました。今から、町の人たちとのかかわりを深めあうことの大切さもわかったし、マップ作りでは、町内のあぶないところや、安全な場所もわかってよかった。また来年もやりたいと思った。

私は「防災教育チャレンジプラン」で、20校の中の1校に選ばれた、と聞いてびっくりしました。それとやる気が今まで以上にわいてきました。担当の浜さんはおもしろくて毎時間楽しかったです。何カ月かお世話になった齋藤君は、あんまり話したことはなかったけど、なんか、すんごい年上のお兄さんって感じで頼もしかった(?)です。カレンダー作りは、もう終わりなので、次の発表へ向けてがんばりたいです。

僕は、防災学習でいろいろな事がわかりました。地震や津波のこと、あぶないところや地域の

人の考え方がわかりました。

防災の授業は、おもしろかったです。一番楽しかったのは、地域にインタビューした時です。一番きつかったのは、ねんりんに行った時です。

授業は自分らのためになったと思いました。防災学習をとおして、いろいろな経験ができました。感謝しようと思います。

この一年間おもしろかったことも苦しかったときもあったけど、とてもたのしかったです。ぼくの班はぼくがただ一人の男でした。だから遊んでいるとよくおこられました。でも、楽しかったこともありました。それは齋藤君と校外に出て、西由岐を調べたことです。とてもたのしかったです。そのあと、防災カレンダーを作ったりして、色々あったけど、とてもたのしかったです。

最初のそっちょくな感想は「あんまりおもしろそうでないな」と思っていたが、だんだんやっているうちにおもしろくなさそうが、おもしろいにかわっていきました。

浜さんが僕らを笑わせてくれたりしてすごく楽しかったです。あとから早稲田大学の齋藤先生(くん)が来てくれ、楽しくてよく分かる授業ができました。

僕は災害がおきたりしたら一人でも多くの命を助けられるような人になりたいです。

総合の勉強をする前はあまり防災意識がありませんでした。でも、この総合の勉強をし色々な場所の被害現場などをテレビなどで見て「私達の町もこんなふうになってしまうのかな?」とか色々な疑問が出てきて、でも、総合の勉強をして疑問に思っていたことが解決していき一つのカレンダーが作れました。こうして楽しく総合の勉強ができたのも浜さんたちが場を盛り上げてくれたからだと思っています。本当に一年間いい学習ができました。ありがとうございました。

防災学習をして、僕はさまざまなことを学びました。地震の怖さ、津波の危険さなど防災の知識がたくさん高まりました。

中でも、他の地域に行って、写真を撮ったり、インタビューをしたりして、そのことから聞き出したことをもとに防災マップとかを作って発表したりしたのが、一番楽しかったです。浜さんをはじめ、齋藤君や、たくさんの人々にお世話になりました。あなた方のおかげで、僕はたくさんのことを学べたと思います。

防災学習では、色々な事が勉強になりました。しかも、その学習の仕方が楽しかったです。

初めて「この防災学習に選ばれるのは難しい」って聞かされてビックリしました。

この防災教育で色々な人に出会えて色々な人に教わりました。たとえば浜さんや齋藤君、でっかい人に大学の先生……。今思うと本当に、自分たちは貴重な経験をしたと思います。その習った事を活かしていきたいです。

災害というものは、どれだけ怖いか防災学習をして分かりました。町民の人たちがその怖さを分かれば、少しでも町全体の防災意識が高まって少しでも被害を少なくできるかもしれません。浜さん、齋藤くんなどいろいろな事が学べて楽しかったです。いろいろな活動をして、時にはふざけたりしたけど重要な事を学べたと思います。みんなと考えたりするのが楽しかったです。町全体がちょっとでも良い方向になればいいなと思います。

防災学習では、地震のことをならって地震のことがよくわかりました。

この一年間、防災についていろいろ学習しました。とくに意識していなかったけど、実際に町に出て、地域の人達に話を聞いたりして、まとめたりしていると、いろんなことがわかってきました。「昔はこうだった」とか、「津波がきて、ここがこうなった」などと教えてくれて、昔こうなったから今はこうしているということなどがわかりました。

こうやって学習していくうちに、防災について意識するようになりました。

この学習をするまで地震とかに興味というか関心はなかったけど、やってみるとおもしろかったし、楽しかった。それに色々知るコトができた。浜さんの授業はおもしろおかしく、でも大切なコトもたくさんあって楽しんで勉強できた。浜さん以外にも色々な先生方にお世話にもなって大事なことをたくさん学びました。みんなで作ったカレンダーは由岐だけでなく、色々な人に毎日楽しく見てほしいし、このカレンダーで防災意識を高めてほしい。

防災学習で、一人一人が防災を思いに持ち、自分だけが助かるなどと思わず、みんなで助かることを思ってほしい。もし由岐町で地震がおこると、由岐町の人、どうするのだろうか。僕たちみたいに防災のことをよく知っていれば、一人でも多くの人助かると思う。僕はまず、ゆれがおさまるまで待って、すぐににげる。そのときに逃げられない人がいたらみんなに協力してもらい、いっしょににげる。

1学期からずっと勉強してきた防災学習ですが、今まで色々なことをしてきたなあと思います。色々な講師の人に来てもらったり、町の人にインタビューをさせてもらったり、たくさんの人にお世話になったと思います。特に早稲田大学から来てくれた齋藤さんには色々手伝ってもらったりして、すごく助かりました。「自分達の町は自分達で守る」をモットーにして、これからも、浜さんと、先生方と、クラスみんなで頑張りたいです。

私は、防災学習でカレンダー作りをしてみんなと協力してできたのでよかったと思いました。自分ではすごく上手にできたし、すごくたのしかったです。なんだか最初は上手にできるのかちょっと不安だったけど、上手にできてよかったです。

とくにがんばったのは、由岐町の人々の笑顔を撮ることです。聞いた人のうち、何人が写真を撮られるのがいやと言う人もいたので大変でした。協力してくれた人にすごく感謝しています。ありがとうございました。

この防災学習をする前僕は、「一学期の間やって終わりかな」と思っていたけど、二学期にスケールの大きさを聞いてびっくりしました。

一学期のことで一番心に残っているのはフィールドワークです。地域の人々の色々な取り組みや意外な所があってびっくりしました。

二学期は齋藤さんと一緒に作ったカレンダーや、齋藤さんの最後の話が心に残っています。

今までの浜さんや色々な人に教えてもらったことによって防災に対する意識が変わりました。これからも今まで学んだことを生かせると思います。

一学期、地域の人たちに南海大地震のことについて話を聞いて来て、地震にあって危険な目にあった人もいれば、ちょうど旅行に行っていて無事だった人もいました。

二学期は、カレンダーづくりをしました。私のグループは友達がつくった災害ポスターをカレンダーにはったり、4コママンガをつくってカレンダーにはりました。

三学期も発表があるのでがんばりたいです。

今まで、防災学習をしてきて、前よりも防災意識が高まりました。

まず初めに、防災マップを作った時に、外に出て町の人に話を聞く、という学習は楽しかったです。

防災カレンダーは、町民が見るので、力を入れてがんばりました。まっまっ仕上がりがよかったです。

今までやってきた防災学習を、生活に活かしていきたいと思いました。

防災学習では、カレンダー作りをしました。私たちの班では「防潮林」をキーワードに、航空写真をつかってどこにどんな木を植えたらいいかを調べました。一番重視したのは、「潮に強く、密集して生える木」です。これは、防潮林だから潮に強くて、いっぱい生えたら津波の勢いも少しは弱まるだろうと思ったからです。

このアイデアをいかして、南海地震や大きな被害から由岐町を守りたいです。

地震とかホンマに来るん？って思っていたけど、防災の勉強をしたら「地震ってコワッ」って

思うようになりました。

毎週金曜日の5、6時間目が楽しみの時間になりました。浜さんは楽しく授業をしてくれて、笑顔で話してくれる優しい人で、齋藤くんは面白い人でした。

防災学習でおそわったことを、これからも活用していきたいです。

防災学習をして一番わかったことは、地震の怖さ、津波による被害です。浜さんがとても楽しく防災をしてくれて、とても楽しかったです。由岐町の津波の来るところなどを学べてよかったです。そして一番印象に残っているのがカレンダーづくり、由岐町を地震、津波から守る対策から考えて、とても楽しいカレンダーづくりでした。今、ぼくたちが由岐町をかえるといながらしています。とても楽しいフォー！

防災学習は、すごく楽しかったです。

私は、防災にはぜんぜん興味が無かったけど、防災学習をして普段から備えておく事は大切ななと思いました。

町で、インタビューとかもして、地震や津波の恐ろしさとかも分かりました。

一年間、防災学習をしているんな事が分かりました。

防災学習でしたことを実際に、生活で実行していけたら良いです。

防災学習をすると聞いたときは正直どうでもよかった。その防災学習で色々なことを知った。津波の来る時間、人工呼吸法、防災道具など。しかし、それらは最終的には死なないためと思う。ジョークを言いながらも熱心に教えてくれる浜さんも僕たちに死んでほしくないから教えてくれるのだと思う。僕らもひと言ではすまない。いつかは来る南海地震に備え日々用心するべきであろう。

私は、防災学習をしてきけんな場所や津波がきたらどこににげたらいいかがわかってすごく役立った。それに、インタビューに行ったことで由岐町の人とふれあえたとし、ポスター作りもおもしろかったし、楽しく勉強できたと思います。

やっぱり由岐町は私たちが守らなければならないと思いました。

一学期から防災学習をしてきて、地域の人たちとも、よくしゃべれるようになったし、地域の危ない所や安全な所、お年よりが住んでいる家など、調べていくうちに地域のことが分かってきました。

これからも、地域の輪を広げていきたいと思います。それと、お年よりを大切にしていきたいです。

防災学習は浜さんのボケ&ツッコミが印象的でした。特につなぎの人が来てくれたトキはめっちゃおもしろかったです。齋藤君はみんなにイジられっぱなしで見てて同情してしまいました。こういうおもしろい面もあれば真剣な面もあり、私はめっちゃ良かったと思います。そして何よりイチバン良かったのは町の人とのつながりが出来た事です。

これからは由岐町の人と助け合いながら生きていきたいです。

ぼくは、防災学習をして、初めは、防災の事なんか、なんにも知らなかったけど、浜さんと、齋藤さんが来て、いろいろ教えてもらいました。齋藤さんは、東由岐の祭りに参加していたし、防災学習の時も、おもしろかったけど、東京に帰ってしまいました。その時は、ちょっと寂しかったです。けど浜さんがいて、浜さんもいろいろ笑わしてくれました。この防災学習で、防災の事がよくわかりました。

一学期から今まで防災学習をして、何回かいろんな人を呼んでいろいろなことがわかりました。最後の方からは、防災カレンダーづくりになって、班であつまってするのが多くなってけっこう話とかもできて楽しかったし、外にでることもあったりしたのでおもしろかったです。

このカレンダーが由岐町中にくばられて、自分の家に来るのがちょっとだけたのしみです。

やっと終わった、これがとりあえず今の感想です。ビデオを見たりインタビューをしたりと、色々やってきた結果が一冊のカレンダーになると思うと、ちょっと感動します。でも災害のおそろしさがちゃんと伝わるかどうか、不安でもあります。

だから2、3年生の前で発表する時に、今までやってきたことを、ちゃんと伝えられたらなと思います。